

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	地域部会（南総部会）		
タイトル	清和県民の森イベント：溪流遊び		
実施日時	平成28年8月6日（土）13時～15時		
実施場所	君津市 清和県民の森 木のふるさと館前 溪流		
受講者	22名（こども10名）	FIC会員他スタッフ	8名

活動の内容 清和県民の森 夏の定番企画「溪流遊び」

房総丘陵の中でも豊かな自然の多い清和地区、川の水深は浅く、小さい子供でも水遊びが楽しめる絶好の環境です。真夏の日差しをさけ森の中に入ると、体感温度もぐっと下がり、溪流の中を歩くと、心地よい涼しさが感じられます。

今回は、2時間じっくり、溪流の生き物さがしと笹舟遊びを楽しみました。この溪流は、周りにある森から染み出している水が水源となっています。

溪流の生き物はとても小さいので、まずじっくり目を凝らして、動き回る小さな生き物を探して見ましょと声をかけます。



カエル・オタマジャクシ・ウグイ・シマドジョウ・ホトケドジョウ・サワガニ・アメンボウといった目につきやすい生き物の他にも、カゲロウ・カワゲラ・トビケラ・ヘビトンボの幼虫など、小さな生き物がいるのです。これらの生き物は、きれいな川にしか住めないこと、生き物の種類で川のきれいさや汚れ具合が分かることなど話してから川の中に入ります。

観察ケース、手網と白いバットを持って川の中に。ギバチのこどもはオタマジャクシそっくりですが、よく見ると小さなエラやヒシとヒゲがあるので魚であることが分かります。サワガニは、川で一生を過ごす唯一のカニ。あっちこっちで、「カニ見つけたよ!」という声があがります。肉食性のヘビトンボの幼虫は川のギャング。「何でヘビトンボというの?」「トンボの仲間?」という声に、「トンボの仲間ではないよ」と、成虫の写真を見せます。トンボのような翅(はね)だけど、ヘビのような頭。納得したかな。小さな淵にはウグイや、きれいな川が好きなホトケドジョウやシマドジョウも住んでいます。小さな生き物にじっくり目を凝らす子も。生き物を探しながらの溪流歩きは、あっという間に時間がたちました。みんな集まって、採取した生き物を見せ合って観察。最後に、そっと川に逃がしました。

次は「笹舟づくり」は、大人も子供も興味深々、親子で一緒に楽しめる企画として大好評でした。

「昆虫や川の生き物が、沢山見られてよかった。」
「笹舟づくりが、楽しかった。」等々、アンケート結果は、ほとんどが「満足」でほっとしました。

